京都府立舞鶴支援学校学校経営計画(スクールマネジメントプラン)

(計画段階)·中間評価· 実施段階)

学校経営方針(中期経営目標)

「よく学び、より鍛 え、よりよく挑む」児 童生徒の育成のた め、目指す学校像の 実現を図る。

[目指す学校像]

- ・ 一人一人の教育 的ニーズに応じて 先導的で特色ある 教育活動を行う特 別支援学校
- 児童生徒の心と 体の健康と安定を 図り、安全で安心 して過ごせる特別 支援学校
- 保護者と児童生 徒一人一人の願い の実現を目指す特 別支援学校
- 専門性を生かし、 地域の特別支援教 育のセンター的役 割を果たす特別支 援学校
- 福祉・医療・労働 等の関係機関との 密接な連携のも と、教育課題に積 別支援学校
- ・ 家庭や地域社会 に開かれ、信頼さ れる特別支援学校

前年度の成果と課題

- 「つけたい力を明確にした授業づくり~読もう・使おう学習指導要 領!活用しようICT!~」を研究主題として、学習指導要領に基づ きながらICTを活用した授業づくりに取り組むことができた。研究授 業や公開授業だけでなく、話題提供授業といった教員相互で学び合える 機会を多く設定することで、相互に高め合えることができた。
- 2 コロナ禍の制限が徐々に緩和されつつある中で、「ふれあい・心のス2 地域の関係機関との連携を強化し、個別のニーズを踏まえた体 テーション」の実施や地域での製品販売会を開催することができ、体験 的な学習の機会が回復し、キャリア教育・就労支援等が充実してきた。
- 3 学校運営協議会を計画どおり3回開催し、学校と地域がWin-Winの関 3 係を築いていくことを確認した。今後は、「地域お宝マップ」を地域資 源の活用につなげ、地域と密につながりながら「生きる力」の育成をめ ざす。交流及び共同学習については、オンラインでの交流だけでなく、 コロナ前に実施していた交流に徐々に戻すことができてきた。
- 4 舞鶴市教育委員会や舞鶴市乳幼児教育センターと連携し、合同研修会 4 の企画・運営を行い、地域の特別支援教育コーディネーター等の支援力 向上に貢献することができた。
- 5 NO残業デーやNO会議デーの日には、すべての教職員が退勤したが、 日常的に時間外に超過勤務をしている教職員が多くいた。特定の教職員 の超過勤務が顕著となっており、業務の平準化に取り組んでいく必要が ある。
- 極的に取り組む特 6 人権についての全体研修会を開催し、人権意識を深化させ指導力の向 上に努めた。職員会議の中で小グループに分かれて、「セクシャル・ハ ラスメント」について意見を述べ合い、客観視して考えることができた。
 - 運営が行われた。

令和5年度 学校経営の重点(短期経営目標)

- 12年間の系統性のある教育課程編成の検討を行うとともに、I CTを効果的に活用した学習指導の充実、障害特性に応じた指導 の充実等、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくり をより一層推進する。
- 験的な学習や職場実習等の機会の拡大、職業教育の推進等、キャ リア教育・就労支援等の充実を図る。
- 地域と連携した学習活動やコミュニティ・スクールの活性化等 により、社会と目標を共有し、「社会に開かれた教育課程」のも と、児童生徒に「生きる力」や「働く意欲」を育む。さらに、交 流及び共同学習の新たな展開等を通じて、児童生徒の力や可能性 等を積極的に広く地域へ発信することにより理解啓発を進め、個 に応じた社会参加・社会貢献の機会の充実を目指す。
- 「トータルサポートセンター(TSC)」は、関係機関及び他 の地域支援センター等と連携し、地域の支援力の向上に努める。
- 5 働き方改革をより一層推進していくために、各分掌等において 業務の平準化に取り組んでいく。また、衛生委員会と連携して具 体的な改善策を検討・実施していく。
- 6 「安心・安全」の学校生活を児童生徒が過ごせるよう、日常的 な安全点検、さらに危機管理体制を整備していく。事故発生時に は、スピード感をもって対応し、事後の再発防止に向けた取組に 生かせるよう、全校で情報共有・共通確認を徹底することを確認 していく。
- 7 様々な部署や担当と連携し、連絡調整を行うことで、効果的な学校 7 事務部は、学校運営に関わる事務の企画・立案及び連絡調整を 行い、児童生徒の主体的・対話的で深い学びによる授業改善を実 現するべく、効果的な学校運営が行われるよう努める。

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
組織	教育目標実現化のため、 学校戦略会議の機能を 生かして、校内組織の活 性化を図る。	う、全校的な課題について、課題整理と方向性提示を		
運営	学校危機管理会議を中心に、学校の安全管理体制を整え、児童生徒の安心・安全を守る。	機能的な危機管理体制を整え、日常的点検や災害対応 訓練等を適切に実施する。 地震や火災、土砂災害を想定した実践的な避難訓練を 実施する。		
	学校運営協議会による 地域とともにある学校 経営に努める。			
教育課程	「つけたい力(健康な心 身・生活に生きる確かな 力・豊かな人間性と社会 性)」を踏まえた教育課 程を編成し、実施する。	いて検討し、授業改善を図りながらよりよい教育課程 の編成を目指す。また、コロナの緩和に関わる学習環		
の編成と実施		別の教育文後計画の石用を図る。 「つけたい力表」の見直しを行い、児童生徒の丁寧なアセスメントや指導に生かす。 個別の指導計画と通知表のよりよい書式について検討する。		
		10 9 3 。 生活リズムを整えるとともに、身体の学習などを通して健康維持のための取組を充実させる。(健康な心身) 家庭と連携を図りながら、「日常生活の指導」等を通して生活習慣を身につける。(健康な心身)		

		働く力や生活する力の基礎となる取組を進める。 (小学部)(生活に生きる確かな力) 体験的な学習を通して、働く力や生活する力を高める ための指導を充実させる。(中学部)(生活に生きる 確かな力) 作業学習や進路学習などを通して、進路希望の実現及 び生活の質を高めるための指導を重点化して進める。 (高等部)(生活に生きる確かな力) 集団の中で役割を果たしたり、協力したりして、達成 感を持てる活動を充実させる。(豊かな人間性と社会			
文書情報管理	個人情報の適切な管理を行う。	性)			
生徒指導	児童生徒の基本的な生活習慣を確立し、主体性、協調性、社会性を養うために、全教職員が総力を挙げて指導にあたる。	学校生活のルールやマナーが身につくように、教育活動全体の中で指導を行う。 児童生徒の生徒指導上の事象について、課題を教職員間で共有し、保護者や地域及び関係機関と連携を図りながら迅速に対応する。 府の方針に基づき、本校のいじめ防止基本方針を児童生徒の実態に合わせて改訂し、いじめ防止及びより良い人間関係作りに努める。 生徒の主体性・協調性・社会性を養うために、高等部委員会活動の充実化を図る。			
	安全・防災教育を推進 し、児童生徒の実態に合 わせた指導の充実を図 る。	児童生徒の実態に合わせた、交通安全教室、薬物乱用 防止教室等を実施する。 笛や名札の携帯について注意喚起を行い、不審者対応 意識の向上を図る。			

人権教育		人権研修会を実施することで、教職員の人権意識を高め、教育活動全体を通して人権に関わる取組を行う。			
	の進路指導の充実を図	12 年間を見通した進路指導計画に基づき、系統的な指導をする。			
進路指	る。 -	キャリアパスポートの取り組みから、自らを振り返る 機会を持ち、自己理解につながる指導・支援を行う。			
導		PTA と連携してニーズに応じた研修会の機会を持ち、 情報提供を行う。			
	高等部3年生の進路希望の実現を図る。	生徒及び保護者との進路相談に基づいた実習を行い、 進路希望の実現ができるように支援する.			
		関係機関等から情報収集に努め、進路先及び入所施設 ・グループホーム等の住まいの開拓に取り組む。			
		進路連携会議を開催し、ハローワーク、行政、生活支援センター、福祉施設等と連携を図る。			
	卒業生のアフターケア に努める。	卒業生の状況把握に努め、必要に応じて支援を行う。			
研	研究主題「つけたい力を 明確にした授業づくり ~読もう・使おう学習指	で深い学びの実現につながる授業づくりについての			
究 • 研修	導要領!活用しよう I CT!~」のもと、授業 研究と教育課程編成の 検討を進める。	ープ研究会を計画的に行い、系統性のある教育課程編			
	外部専門機関との連携、 様々な事業の活用、相互 研修等、様々な形式で研	校内研修会や授業参観等を通して、教員相互が学び合い、高め合う環境づくりを進める。			
	修会の充実を図る。	事例研修会や講演会、出張資料回覧等を通して、教職員の専門性や指導力を高める。			

	一	松型と同覧の次列 大利用監視また 散供して カコガ		1
	研究・研修に関する情報			
	・資料・文献等を収集・	修を進める。		
	提供する。			
	計画的な健康安全教育	保健教育・性教育の年間指導計画を立て、各学級やグ	•	
	を推進する。	ループで指導を進める。性教育教材一覧の活用を促		
h-h-		し、年間指導計画や日々の性教育に関する学習に役立		
健				
		てられるように努める。		
健康安全教育		保健室と学級及び関係分掌が連携し、感染症予防に取		
教	のニーズを白紙、日常場	り組むとともに、心や体の健康について指導を進め		
育	面で指導を進める。	る。		
	 校内環境美化を進め、望	日常的に使用教室等の清掃や整理整頓、清掃指導を行		
	ましい環境作りを行う。			
		い学習環境作りに努める。		
	安全に給食その他の摂	「食に関する指導のガイドブック」を活用し、安全管		
	食を伴う指導が実施で			
	きるように、指導の充実			
食に	や環境の整備を図る。			
	~泉児の登佣を凶る。	全に食に関する指導を行う。		
B		食に関する指導の全体計画についての見直しを図る。		
関する指導		日本ルケンルはしゅうないりゅうなかったませょうな		
指		児童生徒が地域とのつながりや季節の行事等を意識		
導		できるよう、食に関する指導の充実を図ったり、情報		
		発信を行ったりする。		
		社会状況や感染症対策に配慮しながら、調理実習実施		
		に向けての準備を進める。		
		府内支援学校の指導者と情報共有や研修会をするこ		
		とで、教職員の指導力向上を図る。		
	MILES) SON MILES		<u> </u>	
	地域とつながり、地域に			
地	貢献する活動を推進す	交流及び地域の人材活用の充実を図り、児童生徒の力		
域	ることにより、学校に対	を広く地域へ発信する。(地域お宝マップの活用・お		
連携	する地域の理解と信頼	芋・グラウンドゴルフ・和太鼓・学校祭等)		
携	を高める。	地域社会と目標を共有し「社会に開かれた教育課程」		
		のもと、ボランティア活動や学校行事等を通して、地		
		域に貢献する機会を積極的に進める。		

		Later Surply and the	1 1	
	近隣の学校との交流お			
	よび共同学習を推進す			
	る中で、社会性や思いや	・高との共同学習)		
	りの心、豊かな人間性の			
	育成を図る。			
	地域での作品展に出展	児童生徒の作品を地域の公共施設や企業等で展示す		
	し、本校の教育への理解	るとともに、地域の文化行事等へ積極的に出展する。		
	を図るとともに、児童生			
	徒の表現・創造意欲の育			
	成と個性を伸ばす。			
	地域とつながり、地域	本校教育の取組や児童生徒の活躍を伝える学校だよ		
	に貢献する学校として、	りを作成し、地域社会に配付する。		
広	学校だよりや学校ホー			
報活	ムページなどにより、本			
活動	校教育の特色を積極的	る。		
到	に発信し本校への理解	学校ホームページの管理・更新を、計画のもと適切に		
	が深まるようにする。	行う。		
		著作権や情報モラル、児童生徒のプライバシー保護に		
		努め、責任をもって広報活動を行う。		
		関係機関と協力し、本校教育活動等を分かりやすく見		
		対体機関と協力し、本代教育的勤等を力がりですく先 やすくまとめた「スクールガイド」を作成する。		
	W 14 6 14 48 11 3 11/346 1			
	学校の情報化を推進す	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
情	る。教職員の情報機器			
報	活用能力を高める取組			
· 視	を行う。	「GIGAスクール構想」に基づいて、一人一台タブ		
聴		レットを配布し個別最適化した学習を進めていく。		
覚		イントラネットの活用により、各種情報が適切に共		
図		有、活用されるようにする。		
書		 ネットワークのセキュリティポリシーについて、教職		
館		員に周知徹底する。		
1館教育	古井景様田さみ(コ)~巻			
	視聴覚機器を適切に管理なる	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
	理する。	う。 だしは、燃えたより、機用を支加を燃用して		
		貸し出し簿を作成し、機器を適切に管理する。		
	1			

	T				
	児童生徒が読書に親し む機会を提供する。	児童生徒の実態に応じた選書を行い、図書の充実を図るとともに、本に触れる機会を提供する。			
		児童生徒が利用しやすいように図書室の環境整備を			
		する。			
	関係部局と連携し、ニー				
		を行う。また、相談後3か月をめどに状況の把握に努め、継続した相談を行う。			
	向上につながる活動を				
セ	行う。	働した巡回教育相談を行う。			
ンタ					
		舞鶴市教育委員会、幼稚園・保育所課と共催した『特別支援教育合同研修会』を充実させ、特別支援教育コ			
的役		一ディネーターのスキルアップに寄与する。			
割		関係部局と地域特別支援連携協議会を構成し、支援状			
		況を共有し、機関連携をする。			
		「北部地域支援センター連絡会」において、北部の現			
		状・課題を共有するとともに、地域支援コーディネー			
	おの地域文援センター と連携し、情報共有を行	ターのスキルアップを行う。			
	うとともに、地域支援コ				
	ーディネーターのスキ				
	ルアップを図る。				
	_ / ** * ***	校内巡回相談員との連携を密にし、巡回相談員のスキルアップを図るとともに、人材育成会議、校内の研修			
	いくの校内の理解を保 め、関係部署と連携して				
	校内の支援力の向上と	7,7,7,6			
	人材育成を行う。				
	児童生徒が、深い学びを 実現できるよう支援す				
事務部	夫児でさるより又抜り る。	12次形が円上に分の。			
部		教材教具の新規購入や更新により、学びがより深いも			
		のになるよう支援する。			
		1			

学校関係者 評価委員会 による評価		
次年度に向け た改善の方向 性		